

時代が改まり令和元年を迎えました。今年度の校友会は、卒業生間のつながりと卒業生と母校の絆を深められるようにするにはどうすればよいかというテーマを持って活動します。

今まで会報やホームページを通して情報をお送りしていましたが、一方向のつながりでありました。居ながらにして校友会活動に参加できる方法を模索しながら会の運営を進めていきます。そこで、ホームページのリニューアルを行い、双方向の情報交換ができるようにします。また、会員間の交流ができるようにして、卒業しても短大や同窓生とつながりが持てるような環境作りを行います。

ホームページをリニューアル

フェイスブック・ツイッター・インスタグラムの機能を付加しました。会員の交流の場としてご活用下さい。

「校友会のともだち」に登録していただいた方には、定期総会や公開講座KEIAIフェスタ等のご案内をさせていただきます。総会等の出席連絡も可能です。また、同窓会開催等の呼びかけや会員にお知らせしたいことを投稿するなど交流の場としてご活用下さい。「校友会のともだち」に参加して下さる方は右下のQRコードから登録をお願いします。皆様から寄せられたお知らせやご意見はホームページに順次掲載させていただきます。多くの方のご参加をお待ちしております。



千葉敬愛短期大学創立70周年に向けて

2020年に千葉敬愛短期大学は創立70周年を迎えます。校友会では創立70周年記念事業について片山会長が短大との窓口になり、どのように協賛するか短大と協議しております。詳細が分かり次第、会報やホームページでお知らせいたします。

新入試制度「卒業生推薦」について

皆さんのお知り合いで幼稚園教諭・保育士を希望している高校生はいませんか。短大では、「卒業生推薦」という入試制度を開始しました。

卒業生推薦は、高等学校長の推薦は不要です。試験は面接と小論文です。入試検定料と入学金の半額が免除されます。是非ご活用いただいて、夢の実現のお手伝いをお願いします。(詳細は短大事務局へお問い合わせ下さい。)

KEIAIフェスタ・ホームカミングデー

10月26・27日にKEIAIフェスタが行われます。校友会は恒例になりました「ストラックアウト」を学生棟2階廊下で行います。卒業生の皆様にはフェスタ会場で使える金券を用意しておりますのでご来場下さい。校友会の会員受付はストラックアウトの場所です。

また、27日はホームカミングデーです。ミニ同窓会パーティーや創立70周年を振り返る参加型イベントを計画しています。多くのご参加をお待ちしております。皆さんと一緒に後夜祭恒例の花火大会を見ましょう。



今回の会報は、絆を生かした製作をしました。役員の方々は、寄稿をして下さる友だちや教え子様を紹介していただきました。快くお引き受け下さった皆様、ありがとうございました。今後もこの形を継続しながら、ホームページでも投稿を呼びかけたいと考えています。

時代とともに変わっていくもの、変えてはいけないものを見極めながら、会報を進化させたいと思います。(文責事務局 大塚孔久)

時代が求める活動を目指して

校友会会長
片山 喜久子
(昭和48年卒業)



国中が関心を寄せてスタートした『令和』の時代。天皇が変わってどんな世の中になるのかとあれこれ期待する声も聞かれますが、私達一人一人が時代を担っていく自覚こそが大切だと私は考えています。

千葉敬愛短期大学は来年初立七十周年を迎えます。その歩みの一歩一歩が在学した私たちの歩みと重なります。過日、七十周年記念事業寄付金申込書が卒業生の皆様に届いたことと思います。私にとって

敬愛人

人生を振り返る時そこに敬愛短期大学での学びを無しには考えられませんが、私達一人一人が時代を担っていく自覚こそが大切だと私は考えています。

『敬愛人』の思想が重みをもっているからです。この言葉を西郷隆盛はその生きざまそのものが「敬愛人」だったと思います。彼の著作の中で、漢詩の中にそれが随所に



フェスタ・ストラックアウト

活動にも影響します。会費の使い方を見直し、参加する会員を増やすためにも、さらに会員の求めにに応じた事業の開発をも考えたとき、新しい形を考えていかなければなりません。今、若い方々を含め会員がどんなことを求めているのか



ホームカミングデー。ミニ同窓会



本学を卒業して50年と半世紀が過ぎ、昭和・平成・令和と時代が移り変わりました。この間、時代も大きく変遷し発展型から成熟型に移行すると共に最も危惧していた「少子高齢化社会」に突入してきました。つまり、戦後の人口構成は「ピラミッド型」から出生率減少に伴う「ダイヤモンド型（菱形）」更には底辺のない「キノコ型」に移行しつつあります。人口減少に伴う「少子



大野 宣剛
(昭和42年卒業)

子供を安心して 育てられる環境を

高齢化」は国力を衰退させる大きな要因となることは周知のとおりです。端的な例ですと「年金制度」ですが、今迄は5人で支えていた生産者が減少し、3人・2人と負担増に移行することになります。

「少子化に伴う生産力の低下」「高齢化に伴う福祉予算の増大化」等は重大であります。

国は、各種の施策を推進していますが十分とはいえません。例えば、少子化対策としては、もっと安心して子供を育てる環境が必要です。高校生の授業料無料化よりも幼児の育児費の増額・育児所の完備と無料化等安心して子供を育てる環境が必要です。つまり国が責任をもつて子供を育てる環境が求められます。一部の企業ではこれらの対策を推進しているとのことですが、国は、「定年制の廃止」「年金の支給年齢の引き上げ」「外国人の採用」等の施策を推進しているようですが、先ずは「出生人口の増加」が急務ではないかと思えます。つまり若い世代が安心して子供を育てられる環境づくりを期待します。私も「健康体操」に参加しただけ福祉のお世話にならないよう努力しています。



までの疲れが一気に吹き飛びました。現在は幼稚園教諭として働いています。行事やクラスのこと追われる日々ですが子どもたちの笑顔を見ている姿を見て今



武井 奈菜
(平成30年卒業)

子どものために、 自分のために

みると元気をもらいやりがいを感じます。短大生活では毎日の授業の他に実習や行事もあり、辛いことも沢山あると思います。ですが、その困難を乗り越えることでやりがいや楽しさを感じられる自分自身の成長に繋がるはずで、何事も自分への試練だと考え前向きに、一緒に頑張りましょう！



富澤 惇
(昭和31年卒業)

生きているから、 未来がある

敗戦記念日（終戦記念日）も過ぎ、今年も蒸し暑い炎暑が続いている。死者20万人の沖縄慰霊の追悼式（8月23日）死者15万人の広島（8月6日）、死者7万4千人の長崎（8月9日）の方々の追悼式も終了した。世界で8百53万人の死者を出した第二次世界大戦での日本人の死者310万人の追悼式も経過した。

新しく輝かしい令和の時代を迎

70周年記念事業準備委員会を立ち上げる

卒業生の皆さん、いつもお世話になっていきます。短大の近況をお伝えします。

〈70周年記念式典の日程決まる〉

千葉敬愛短大は来年70周年を迎えます。人生でいえば「古希」です。これを機に、これまでを振り返り良さを残し、これからの30年を見据えて、新たな幼児教育の担い手を育成していくつもりです。

式典は来年の11月22日を予定しています。ここでは、これからの



〈ホームカミングデーへの参加〉

幼児教育の方向性と男子保育士の育成について議論を深めていくつもりです。内容がハッキリした段階で再度お伝えしていくつもりです。

一つお願いがあります。皆様のごところに「寄付」のお願いの郵便が届いているかも知れません。寄付金額の目標は5000万円です。短大をご支援いただけますよう、お願いいたします。

今年も10月の「フェスタ」で卒業生を対象にした「ホームカミングデー」を校友会と協働で行うつもりです。昨年、多くの方のご参加をいただきました。80名近く人が集まりました。校友会から提供されたシャープペンが好評で



でした。

できましたら、このフェスタの期間中にクラス会を開いていただくと、集まりやすいのではないでしょう。か。クラス会を開くとき、校友会から財政的な援助が出ます。クラスの幹事の方、人数が決まりましたら校友会の方にご連絡下さい。校友会では卒業生の皆さんが交流を深める場の設定を考えて



千葉敬愛短期大学
学長
明石 要一

〈卒業生推薦入試の試み〉

卒業生からの推薦入試を若干名ですが、始めます。知り合いの高校生がいましたら、是非「敬短」への受験を勧めていただけないでしょうか。短大を取り巻く環境は年毎に厳しくなっています。可能性を秘めた生徒を確保したいのです。ご協力をお願いします。





小学校で働き、子供たちと向き合い過ぎていく中で人のつながりの大切さをこれまで以上に感じるようになった。敬愛短大卒業の先輩や後輩と同じ学校で働いたり、様々な研修や学習会、出張で会ったりする機会があった。学習や生活指導の相談をしたり、他愛のない話をして気分転換をしたりすることができた。一人の力では思うように進まないことが多く、色々な人の考えに触れることで前に進むことができた。敬愛短大のつながりが校内外で広がっているのだと感じた。

また、校友会の定期総会に参加した。その際にも会長や副会長をはじめとした同じ敬愛短大卒業生が温かい雰囲気を迎えてくれた。教師が温かさをもち続けること

ある小学校二年生のクラスでの読み語り。
私——何の足跡かな？
子どもたち——かえる？人間？
かっぱ？
あつ——そうかあ。
「なにのあしあとかな」(藪内正幸作)の絵本の一場面です。子どもたちの反応が楽しいです。
「いないいないばあ」(松谷みよ子作)では。子どもたちは、やさしい笑い声をたてます。
五年生の子どもたちに、大型紙芝居で障がいについて語りました。

子どもから
元気をもらおう
読書ボランティア

齊藤 好子
(旧姓 多田)
(昭和49年卒業)

は、教室で子供達が温かい雰囲気
で過ごすことにもつながってくる。
これからも温かい敬愛短大の
つながりが広がり続けてほしいと
思う。

夢だった保育士
になって

持田 浩美
(平成25年卒業)

私は小さい頃からの夢であった、
保育士になることを胸に千葉敬愛

「勝利の女神」というお話です。子
どもたちが帰る時、一人の女の子が
寄つて来ました。
「いいお話でした。私涙が出てき
ちゃった。
お話をありがとうございました。いまし
た。」と言ったのです。まだ目がうる
んでいました。「感動してくれてう
れしいわ。また聞いてね。」
と言うと、うなずいてくれました。
週一回の読書ボランティアは、私の生
きがいです。

短期大学に入学しました。
在学中は、勉強に実習に忙しい
毎日でしたが、その度に周りの先生
方や同じ夢を目指す友人に励まし
を頂き、今では、夢であった保育士
として働いています。
今、現場で子どもたちと関わり、
日々の子どもの変化や成長を間近
で見ることが出来ることがとても
嬉しいです。
もちろん、私自身まだベテランと
まではいきませんが、色んな先輩に
支えられながら、日々、保育士とし
て子どもたちが楽しく、また保育
園が大好きと思えるような環境作
りを心がけています。
子どもたちがどんな物に興味があ
るのか、どうしたらその遊びが楽
しめるかなどを考え、日々奮闘して
います。
上手にいくとき、いかないときも
ありますが、子どもたちが「先生」
と笑顔で来てくれる姿にとってもや
りがいを感じています。
保育士になるまで、また慣れる
までには大変な時もありましたが、
今では保育士になって本当に良かつ
たと実感しています。
これからも頑張っていきたいと思
います。



え、新天皇
もご即位さ
れた。
同時に、
戦争を知ら
ない人がほ
んどとな
り、平和な
世に甘んじ、その恐ろしさを体験し
ている者は少なくなっている。
身内のことで恐縮だが、私の細
君は幼少時代、父が満鉄社員だつ
たため、戦後満州(中国北東部)か
ら命辛辛引き揚げるとき、父と妹
2人を亡くした。私の叔父一家は、
東京大空襲のとき家を焼かれ、田
舎の我が家へ家族5人引っ越して
きたが、過労のせい、数年後40代
の若さで病死。国民全体が、食料
不足で飢えに苦しみ、同じ生活
を強いられた。戦争がいけないこと
は誰も解っているが真剣に考えてい
る人は？
天皇陛下のおことばに「憲法に
のっとり」(抜粋)とあり、歴史に
についてもお述べておられる。私
たちもこの機会に歴史を顧みる必
要が大いにあると信じる。
山内怜奈さんの詩「生きているか
ら笑える、生きているから未来があ



た。爾来、今
年で教職44
年目をむえ
ました。平成
28年にいつた
ん定年退職
しましたが、
再任用フルタ
イム2年、郵

私は昭和51年に敬愛短大を卒
業し、東京の小学校教師になりま
した。9年間の東京勤務中に玉川
大学に編入学して中高の社会科免
許を取得しました。玉川大学の卒
業論文作成の際は二三重夫教授
に大変お世話になりました。その
後、昭和60年に千葉市の中学教師
になりました。

生涯現役を
目指して

石井 清
(昭和51年卒業)

る。』(抜粋)とある。より深く、いい
方向に考えてゆきたい。(終わり)

私は今、幼稚園の先生として都
内に勤務しています。都内に住み
たいという思いと長年夢だった幼
稚園の先生になることを同時に叶
えたくて、就活では7園を見学し本
当に悩んで決めました。就職してか
らは近くに友達はいないし、家族も
いないし、辛いことがたくさんあり

在学中の
みなさんへ

森川 美徳
(平成30年卒業)

便局、子どもルームにも努め、今は
また千葉市の中学校で非常勤講
師をしています。私の人生の大半
は教職であります。教職勤務の緊
張感が好きでこの仕事を続けてい
ます。学校へ行くとき身がひきしま
ります。私の土台は敬愛短大で学ん
だ教育原理をはじめとする教職教
養です。母校での学びに感謝しま
す。退役悠々もいいですが、生涯現
役、教職50年を目指し、今後も精
進します。

つながり
今井 良行 (平成19年卒業)
敬愛短大を卒業し、千葉市の小
学校教員として勤め始めて、早十
二年が経とうとしている。

という社会人になって活かすことが
できています。学生時代に学ぶこと
は座学だけでなく行事を通して学
ぶことがたくさんあるし、必ず就職
してから役に立ちます。恥ずかしさ
とかは捨てて、みなさん学生生活
を全力で楽しんでほしいと思いま
す！そして、友達は絶対に社会人
になっても支えてくれること間違
いなしです！たくさんの友達と学生
生活を楽しくくださいね！



ましたが、休
日になると
学生の頃の
友達が遊び
に来てくれ
ます。又、学
生時代の委
員長やクラ
スの経験が
すごく今の
幼稚園で、と

「KEIAI☆フェスタ2019」

KEIAI☆フェスタ
実行委員長 田中美羽(2年)10/26^土 ▶ 10/27^日
KEIAI☆フェスタ開催!

こんにちは。令和元年度KEIAI☆フェスタ実行委員長を務めさせていただくことになりました田中美羽です。本学の大イベントであるKEIAI☆フェスタの実行委員長を務めることができとても嬉しく思います。

昨年は晴天に恵まれ、大成功を果たしたKEIAI☆フェスタですが、今年は昨年を超えるようなものを作りたいと思っています。フェスタは8つの部署とそれを支える本部で作られています。本部は4月から少しずつ、部署は夏休みから10月のフェスタに向けて活動を行っていきます。他クラスの人や学年の違う人と活動を通して親しくなれることができるのは部署活動のいい所のひとつでもあります。

さて、今年のテーマは「掬一むすびー」です。幹部16人で、どんなフェスタを作りたいかという話をした際、「みんなの力でフェスタを作りたい」「みんなが輝き、楽しいと思えるようにしたい」という意見が多く出ました。「掬」という字には「ある形

のものを作り出す」「離れている地点を繋いで連絡できる」などという意味があります。8部署それぞれの役割があり、違う活動をしています、みんなでひとつの目標に向かってつくりあげたいという思いから「掬」というテーマになりました。

サブテーマは「一輪の花咲き誇り花束へ」です。このサブテーマはフェスタ全体を表しています。一輪の花というのは各部署を、花束というのはフェスタを表してみました。花びらのような部署のスタッフ一人ひとりが輝いてまとまり花となって、最高のフェスタになればいいなと考えています。

今年はこんなにも素敵なテーマを持つことができたので、このテーマのようにスタッフが丸となって活動に取り組みたい

と思っています。学生が1から作り上げるKEIAI☆フェスタを楽しんでいただけたら幸いです。ご都合がよろしければ是非お越しください。皆様のご来場心よりお待ちしております。



「敬短のリーダーとして」

学生会長 塚本桃野(2年)



こんにちは。令和元年度学生会長を務めさせて頂いております塚本桃野です。

私は千葉敬愛短期大学に入学するにあたって1番の決め手がありました。それは学校全体がとても明るく、なによりも学生の皆さんがとても元気でキラキラと輝いていたということです。この思いから、これから入学してくる皆さんに私と同じような思いを持って欲しい、私自身が学生会として学校をさらに明るく輝かせたいと思うようになりました。実際に学生会執行部として活動してみると、得るものは多くありましたが、その分大変なことももちろんありました。最初のリーダーズ研修会では分からないことだらけでしたが、旧学生会の先輩方のサポートによりやり遂げることが出来ました。このリーダーズ研修会を通して、改めて学校全体のリーダーであり、引っ張っていかなければならない

のだと実感すると共に頑張ろうという強い気持ちが持てました。次は、予餞会でした。予餞会の中で1番力を入れたのはスライドショーでした。1年間お世話になった先輩方への感謝の思いを込めて、現学生会9名で作りました。思うようにいかない部分もありましたが、それよりも先輩方の笑顔や感動している姿をみて達成感を感じました。そして、私が一番楽しみにしていた新入生歓迎会です。最初は不安でいっぱいの新1年生に敬短の良さを沢山伝えたいという思いで盛り上げました。現学生会は元気溢れる個性豊かなメンバーが揃っているため、自己紹介などでは「楽しそう」「明るくていいな」といった思いを持ってくれた1年生が多かったのではないかと感じています。

様々な行事を通して、学生会メンバーと力を合わせてやり遂げる達成感、学生会一人ひとりの意見を大切にひとつにまとめる大変さなど色々なことを学び、成長することが出来ました。学校生活も少なくなってきましたが、敬短を盛り上げるため、みんなが楽しめる行事を企画し、9名で突っ走って行きたいと思います!

いよいよ創立70周年への
カウントダウンが始まります

世界中が来年にひかえた「東京オリンピック」に向け盛り上がりを見せていますが、2020年は、千葉敬愛短期大学にとっても創立70周年を迎える記念すべき年となります。

来年2020年11月22日に予定している70周年記念式典には、多くの卒業生のみなさまにご参加いただけますよう着々と準備を進めております。千葉県を中心に活躍されている卒業生みなさまの絆を深めていただけるよい機会となることを願って止みません。

そこで、まずは今年で第2回目となる「ホームカミングデー」(10月27日(日)13時から受付) KEIAI☆フェスタ最終日)に是非ともお出掛けください。今回は、①敬短サミット、②古今東西☆敬短の絆たすきリレー、③懇

親会という内容を予定しています。

敬短サミットは、さまざまな分野でお仕事をされている卒業生をお迎えすると共に会場全体で「敬短のよいところ」、「これからの敬短」について考え、生の声をお聞かせいただく場です。敬短の卒業生だからこそ考える、敬短の未来や展望。卒業生の皆さんの手で千葉敬愛短期大学を育ててください。

古今東西☆敬愛の絆たすきリレーは、敬短の卒業生は、身近にどの位いらつしやるのか、1年間たすきをリレーしたらどの位の人数になるのか...という素朴な疑問から生まれたゲームです。お友だちやご親戚、同じ職場の先輩・後輩、ご近所の方と全ての卒業生が対象です。

「敬」チーム、「天」チーム、「愛」チーム、「人」チーム、それぞれのキャプテンが約1年後の70周年記念式典会場でのゴールに向けてリレーをスタートします。

もし、みなさまのところへたすきが回ってきたら、たすきに《通し番号》と《名前》を書き込み、次の卒業生にリレーをしてください。そして必ず自分が「○チーム ○番」であるということを覚えておいてください。後で素敵なことがあるかもしれません。複数チームへの名前の重複記入はなしですよ(笑)。このようなゲームを心の底から楽しんでくださる皆さまだからこそ、卒業生の和が広がり、絆が深まるかもしれません。創立70周年がみなさまの笑顔と敬短への愛で迎えられることを1年後がとても楽しみです。



学生部長

大野 雄子

Message お便りお待ちしております!!

本短大卒業生の近況や思い出を掲載するコーナーです。事務局では会員の皆様のお便りを、お待ちしております。どんなささいな事でも、かまいません事務局までお送りください。

原稿郵送先

〒258-8567 千葉県佐倉市山王1-9 千葉敬愛短期大学 校友会事務局まで

FAX:043-486-2200(24時間受付)

千葉敬愛短期大学 ホームページ <http://www.u-keiai.ac.jp/junior/>